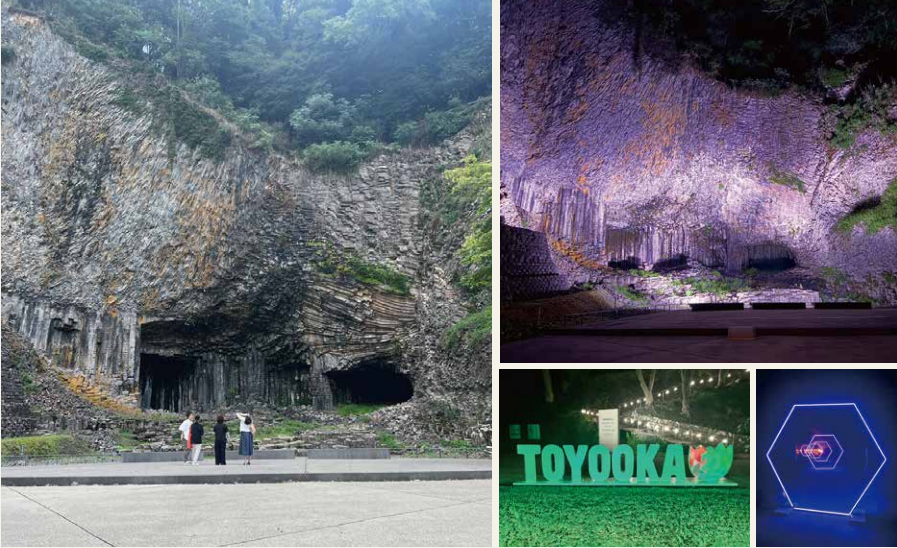


スタッフおすすめ！

豊岡にいらっしやい！



以前、UKITAISMのNo.2でもご紹介した「玄武洞」。2025年9月20日(土)～10月5日(日)の期間限定でライトアップが実施されました。ナイトミュージアムをテーマに、ただ照らすだけでなく、色とりどりのライトを使用することで、玄武洞の神秘的な魅力が一層引き立っていました。会場にはフォトスポットも用意されており、七色に変化する光の演出を楽しみながら写真撮影ができました。玄武洞公園は2022年に有料エリアの工事が行われ、No.2でご紹介した当時とはまた違った姿になっています。さらに魅力的になった玄武洞公園へ、ぜひ足を運んでみてください。

発行 浮田産業株式会社	www.ukitasangyo.jp	mail: info@mail.ukitasangyo.jp
■ 本社	〒668-0021 兵庫県豊岡市泉町9-13	TEL:0796-22-7111 FAX:0796-24-3983
■ 自社ファスナー加工工場	〒668-0026 兵庫県豊岡市元町5-4 TRUSPA	TEL:0796-29-0011 FAX:0796-29-0138
■ LABO	〒668-0021 兵庫県豊岡市泉町10-25	TEL:0796-24-3111 FAX:0796-24-1113
■ 東京支店	〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8 アダックスビル6F	TEL:03-5820-8168 FAX:03-5820-8167
■ 東京ファスナー工場	〒111-0051 東京都台東区蔵前4-17-11	TEL:03-5809-1708 FAX:03-5809-1707
■ 大阪支店	〒534-0025 大阪府大阪市都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル5F	TEL:06-4309-6500 FAX:06-4309-6501



UKITAISM 2025

MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR

REPORT

産学連携プログラム

芸術文化観光専門職大学 「地域イノベーション実習生」を受け入れました

ようこそ！
浮田産業へ



2025年8月25日から9月5日までの2週間、豊岡にある芸術文化観光専門職大学の学生4名を「地域イノベーション実習」という授業の一環で受け入れました。社内見学や小物作り体験、社内企画品の説明会、城崎や鞆ストリートにフィールドワークなどを行いました。この実習の最終目標は浮田産業の強みを活かし、今までになかった商品を企画し提案することでした。企業側として、実習生たちの様子を毎日見守っていましたが、意外にも作りたい商品のイメージがすんなりと定まっているようでした。

この方向性はどうか？ / それでいい！ /



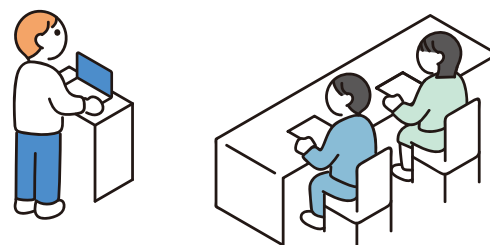
企画の方向性が見えてきた頃、大学の先生が途中経過を見に来社されました。先生は「方向性がすんなり決まったことが良いことなのか」「目に見えてわかりやすいルートが最善のルートとは限らないのではないか」「もっと遠回りをしながら皆さんの可能性を探るべきではないのか」と学生たちに問いかけていた時間がとても印象的でした。

たくさんの可能性を
探るべきでは？



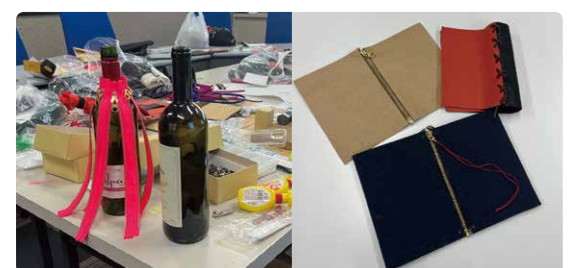
- 企画1 日本酒ギフトバッグ
Kasane musubi
- 企画2 御朱印帳ケース
KIKAZARU 巡装

- ファスナーやスライダーの技術を活用
- ご当地スライダーや地場産の素材を使うなど日本の文化を大切に、広く伝えていく



最終的に学生たちが提案してくれた商品は2つでした。1つ目は「日本酒ギフトバッグ」です。お酒好きの学生の発想から、日本酒を入れるためのバッグを考案しました。ファスナーを使用してマチの広さが変わるというアイデアがユニークで面白いと思いました。2つ目は「御朱印帳ケース」です。もともとはブックカバーとして企画を進めていましたが、構想を深めるうちに御朱印帳ケースにたどり着いたそうです。ネーミングやコンセプトもしっかりしていて、素敵な案でした。

どちらの企画も魅力的な商品となっており、発表する姿もとても立派でした。最終的に商品企画としてあがる前にボツになった商品が36個もあったそうです。学生ならではの視点で、考えに考え抜いてくれた2週間だったと思います。私たち企業側も、学生たちの素直にものづくりに向かう姿勢や大胆な発想に刺激を受けました。学生にとっても企業にとっても、有意義な2週間となりました。お疲れさまでした^^



● 日本酒ギフトバッグと御朱印帳ケースの試作品

ちなみに、企画が行き詰まった際には、気分転換に玄武洞へ深呼吸をしに行きました。玄武洞の岩肌を見て「全部ファスナーに見える…」と言っていた学生たち。壁にぶつかりながらも最後まで頑張ってくれました！



玄武洞の岩肌が
全部ファスナーに見える…

実習生はこちらの学生さん /
兵庫県公立大学法人
芸術文化観光専門職大学
実践的な学びを通して地域の魅力を発信し、観光や文化で地域創生を担う人材を育成する、芸術・文化・観光を融合して学ぶ専門職大学です。



アイデアのはじまり

この商品は、2023年の冬休みに実施された「フランスで売るもの」をテーマとした社内コンペで提案されたアイデアをもとに誕生しました。風呂敷で物を包むという日本の伝統的な文化や、柄に込められた意味といった「日本らしさ」に、浮田産業のファスナーのノウハウと加工技術を活かして生まれたのが、「ファスナー付き風呂敷」というアイデアです。この提案が採用され、商品開発が本格的にスタートしました。

「mu-no(ムーノ)」の特徴

京都の生地を使用し、四隅にファスナーを縫い付けた風呂敷です。ファスナーを閉じたまま使用すれば従来の風呂敷として、開けるとファスナー穴を通して簡単に物を包むことができ、その穴が持ち手にもなります。商品名「mu-no(ムーノ)」は、「包む布」という言葉のローマ字表記「tsutsumununo」から名付けました。



表



裏

- 種類 ひょうたん(赤)／丸取小紋(黒)
- サイズ 60cm×60cm
- 生地 綿風呂敷(表)／綿シーチング(裏)
- ファスナー 3C DSB(KQ/C5)

※「mu-no」は商標登録済み、特許出願中です。

mu-no

Japanese tradition wrapping cloth
"FUROSHIKI" with Zipper



おもてなしセレクション受賞

2025年2月に「おもてなしセレクション」へエントリーし、金賞を受賞しました。選定員からは「伝統とモダンを融合させた便利なアイテム」「風呂敷の包み方に不慣れな人でも簡単に使える構造は、海外市場でも受け入れられやすい」といった評価をいただきました。8月16日から31日には、東急プラザ銀座で開催された「OMOTENASHI Summer Market〜夏に出会う、日本のいいもの、めずらしいもの。〜」に出展し、当商品も販売されました。



包み方いろいろ

決まった包み方はなく、手にしてくださった方の、自由な発想でのご使用を想定しています。



うさぎ



かも



いちご



やま

オリジナルの「mu-no」も作れます

写真やイラスト、ロゴなどを印刷してオリジナルの「mu-no」を作ることができます。詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせください。



@MU_NO_MU_NO

オーダーメイドはもちろん、
浮田産業のオリジナル商品も！

NEW PRODUCTS

どすこい引手



日本国内はもとより海外でも、人気になりそうな商品の紹介です。その名も「どすこい引手」です!! 力士をモチーフに作成されたファスナーの引手で日本好きな海外のお客様におすすめしたい商品になっています。また、まわしの色や髪の色はスライダーと同じものになりますがその他の部分は注文によって変更が可能です。また、従来の使い方とは別にボールチェーンや二重リングと組み合わせればキーホルダーやチャームとして使用することもできます。様々なファスナーや金具の組み合わせで海外のお客様や相模好きなお客様への商品をいかがでしょうか？

知って得する ちょっとイイ話!

みなさんが今、お読みのUKITAISMを始めとしてファスナーや金具はどのようにして皆様の手元へ届いているかご存知でしょうか？今回は、浮田産業から皆様の元へ商品が届くまでの経緯の紹介をします。商品が届くまでの経緯には二種類あります。実際に商品を浮田産業の従業員が持っていく配達と配送業者を利用した県外への発送の二種類です。まずは配達から紹介します。

① 配達

配達には実際に浮田産業の従業員が荷物を持って行ってお渡しする方法のことです。細かい金具や重たいファスナーと商品も様々で、お客様の手元に届いた際に扱いやすいよう荷物の重さを考慮することや配達件数などが気を付けなければならないポイントです。それぞれお客様の元への行くまでのルートや一日におけるスケジュールと配達の順番を上手く決めることが素早く終わらせるポイントです。

② 発送

次に発送です。発送は本社がある豊岡市から距離のある地点へ運送業者を使用して商品をお送りする方法です。送る商品の内容や送り先など間違えてしまうと修正が大変なので注意することが必要になります。荷物の梱包の仕方などお客様の元へ届いた時のことを考えることも大事なポイントになります。荷物を出す際の送り状も自分達で行います。住所が間違えてないか納品書を入れる箱は間違えてないかなど様々なことに注意しながら荷物をお送りします。



REPORT 豊岡青年会議所主催イベント はばたけ! コいのぼり2025

2025年5月5日、豊岡青年会議所が主催する、小学2年生を対象とした560匹のこいのぼりを上げるイベント「はばたけ! こいのぼり2025」に浮田産業はワークショップとして参加しました。当日は、缶バッジ作りやミニファスナー、ミニタッセル、オリジナルチャーム作りを行いました。多くの子どもたちが集まり、にぎやかな雰囲気となりました。



(左上)浮田産業といえばコレ! 定番のミニファスナー作り。(中央上)こちらにも人気の定番、ミニタッセル作り。特に女の子たちに大人気でした。(右上)缶バッジ作り。色の塗り方次第で、世界にひとつだけの缶バッジが完成! (左下・中央下)親子でも、大人同士でも一緒に楽しめます。(右下)アクリルチャーム作り。LABO事業部にレーザー加工&色入れをした浮田産業のオリジナルチャームです。

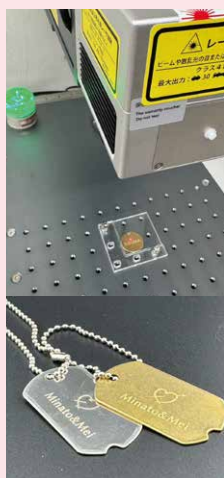
レーザー加工

LABO

オリジナル商品を!



LABOでは新しいレーザー加工機を導入しました。主に金属対応の機械なのですが、今までの加工機との大きな違いはコンパクトなこと。今後はこの機械とともにイベントに行き、その場で名入れすることも検討中。名前が入ったチャームやドッグタグがその場で作れます!これからクリスマスやバレンタイン、卒業シーズンなど、イベントがたくさんあります。「自分だけのもの」「自分たちだけのもの」があるとワクワクしませんか? 可能性は無限大。LABOと一緒に、おもしろいこと始めませんか?



Ukita 人物手帖

浮田産業の個性豊かな面々をご紹介します!
意外な一面も見えるかも!?



【vol.19】
ファスナー事業部
浮田 裕貴
Ukita Yuuki

「正直、面倒くさいな」これは、地元の金融機関が運営する豊岡の企業に勤める27歳以下の若手を対象にした地元を支えるリーダーを育成する「NEX豊岡」という取り組みへの参加を勧められた時の第一印象です。仕事を抜けることへの不安もあり後ろ向きな気持ちのままプログラムに参加しました。ところが、いざ参加してみると楽しいのなんの。普段の仕事では絶対に聞けない貴重なお話や体験をすることができ、気づけば次回を心待ちにしている自分がいました。メンバーとも打ち解け、今では食事に行くような仲にまでなっています。この経験を通して、改めて「地元」について考えるようになりました。私の地元・豊岡は、都会ではありません。高層ビルがあるわけでも、人が溢れているわけでもない。でも、だからこそ一人のつながりが強く、簡単には離れない関係が築けると考えています。都会の真似ではなく、この土地ならではの強みを活かして伸ばす。地元について嫌になるほど学び、触れた経験を、今後の仕事に活かしていこうと思います。